

先生のための 美術館ガイド2026

小・中学校 高等学校 特別支援学校向け

当館では、子どもたちが本物の美術作品に触れ、その良さを味わう機会をつくるためにさまざまな取り組みをしています。学校のニーズを聞き取りながら、子どもと美術の出会いが素晴らしい学びの機会となるようにサポートします。ぜひご活用ください。

見学プログラム

はじめて美術館を訪れる子どもたちや、団体鑑賞に不安を抱える先生方が安心して来館できるように、学芸員がサポートします。プログラム内容や時間の希望など、お気軽にご相談ください。

自由見学

【30～60分】

見学者のペースで鑑賞を楽しむプログラムです。ワークシートもご用意しています。

タイムテーブル(例)

10:00	学芸員による事前説明 (鑑賞マナー、展覧会概要)
10:10～	自由見学
11:00	退館



解説付き見学

【45～60分】

学芸員の作品解説を聞きながら鑑賞するプログラムです。

タイムテーブル(例)

10:00	学芸員による作品解説
10:30～	自由見学
11:00	退館



美術館探検ツアー

【45～60分】

作品の保存や来館者サービスなど美術館の役割を学ぶプログラムです。収蔵庫などのバックヤードを見学することができます。

タイムテーブル(例)

10:00	展示室見学
10:20～	バックヤード見学
10:40～	自由見学
11:00	退館



他にもこんなプログラムがあります

- 「対話型鑑賞」(10人程度の少人数が望ましいです)
- 「日本画体験」(材料費が必要です。事前にご相談ください)
- 「偉人学習」(上越ゆかりの作家の生き方を学びます)
- 「文化財・小林古徑邸の建築を学ぶ」

遠足のついででもOK♪
お庭や建物をワークシートを使って探検できます。お気軽にご利用ください。



ぎっず★アートチャレンジ (小学生向け)

お申込みの流れ

1. ホームページで 展示内容と開館日を 確認



▶美術館 HP

2. 電話で問い合わせ

来館希望日、人数、見学の目的などをお伺いします。目的に応じて、見学プログラムをご提案します。お気軽にご相談ください

▶お電話はこちら
電話 025-523-8680

3. 下見・打合わせ

当日の打合わせは下見見学やお電話で対応します。その他、必要に応じて以下の手続きを行います。

- ・ワークシート送付
- ・学芸員による事前授業

4. 来館

はじめて美術館を訪れる子どもたちや、団体鑑賞に不安を抱える先生方が安心して見学できるように学芸員がサポートします。
※事後アンケートにご協力ください。

よくある質問

Q 入館料はかかりますか

A 上越市内の小・中学生の入館料は無料です。引率者も無料です。上越市外の学校の方は入館料が必要です。高校生は1人260円、20人以上の団体は1人210円です。学校単位で年間入館券（700円）を購入する高校が増えています。どうぞご検討ください。

Q 見学の前に準備は必要ですか

A 来館前に展覧会チラシを教室内に掲示しておくことで当日の子どもの反応は違います。また、見学マナーについて事前にお話していただくとありがたいです。

- 4つの約束
- ① 作品にさわらない
 - ② ゆっくり歩いてまわろう
 - ③ 小さな声でお話しよう
 - ④ 飲んだり食べたりできません

Q 館内で昼食はとれますか

A 館内には食事をするスペースがありません。美術館前の芝生広場などをご利用ください。



Q 写真撮影はできますか

A 活動の様子を撮影することは可能です。また、「撮影可能」の表示がある作品は写真を撮ることができます。

Q ワークシートはありますか

A クイズ形式で美術館や小林古径のことが学べる「きつず★アートチャレンジ」(小学生向け)があります。他に、展覧会ごとに鑑賞ワークシートをご用意しています。

Q 遠方なので、なかなか美術館に行くことができません。出前講座にも対応してもらえますか

A 学芸員が学校に出向き、日本画体験や作品鑑賞会などを行っています。

実施期間：5月～8月、または12月～2月

受付数：年間5件程度

※日程や人数によってはご希望に添えない場合があります。

※内容に応じて材料費がかかります。

●その他、不明な点があればお気軽にご相談ください。

2026年度展覧会スケジュール

春

「生誕100年 舟見俊二 ストライプの彼方へ」

令和8年3月20日(金・祝)～6月21日(日)

上越市出身の美術家・舟見俊二は、令和2年に95歳で亡くなるまで国内外の公募展で活躍しました。油絵や版画、BOXARTや木工クラフトなど、多彩な制作活動の軌跡をたどります。



舟見俊二《空間》

「夏の雪」

令和8年7月4日(土)～9月27日(日)

雪をテーマにした美術作品を展示します。上越ゆかりの作家の作品がたくさん展示されますので、地域の美術に親しむことができます。暑い夏にひんやりと心地よい展覧会です。



村山陽《雪の朝 駐車場俯瞰》

夏

秋

「小杉放菴展

—放菴のこころ 赤倉に描き、高田に息づく—

令和8年10月10日(土)～12月6日(日)

小杉放菴(明治14～昭和39)は日光市出身の画家で、昭和20年から赤倉で暮らしました。油彩画と日本画の両面で活躍するとともに短歌も多く制作しました。詩情あふれる放菴作品の魅力を紹介しします。



小杉放菴《花咲館》

「油彩画っておもしろい！」

令和9年1月5日(火)～3月7日(日)

当館の収蔵品から多彩な油絵作品を展示します。油絵の具の特徴や技法、日本画との比較をとおして、面白く、そしてわかりやすく紹介しします。



牧野虎雄《小春》

冬

小林古径記念美術館

Kobayashi Kokei Memorial Museum of Art

〒943-0835 新潟県上越市本城町7-1(高田城址公園内)
TEL 025-523-8680 FAX 025-530-6033
メールアドレス kokei@city.joetsu.lg.jp
ホームページ <https://www.city.joetsu.niigata.jp/site/kokei/>

電話やメールで
お気軽にお問合せ下さい

SNS 随時更新中! /



Facebook Instagram

